

日本ロッシーニ協会定期演奏会 2013

歌劇《マオメット 2 世》抜粋 (ピアノ伴奏による楽曲セレクション)

Gioachino Rossini: Maometto secondo

企画概要

公演名 日本ロッシーニ協会定期演奏会 2013 : ロッシーニ作曲 : 歌劇《マオメット 2 世》抜粋
(ピアノ伴奏による演奏会形式の楽曲セレクション。ロッシーニ財団批判校訂版の第一次校訂譜使用。日本語字幕つき)

期日 2013 年 10 月 11 日 (金) 18 時開場、18 時 30 分開演

会場 紀尾井ホール

全席指定 入場料 ¥5,000、学生 ¥3,500

主催 日本ロッシーニ協会

後援 イタリア文化会館、公益財団法人 日伊協会

マネージメント : ミリオンコンサート協会

出演 : 天羽明恵 (ソプラノ/アンナ)、家田紀子 (ソプラノ/アンナ)、富岡明子 (メゾソプラノ/カルボ)、阪口直子 (コントラルト/カルボ)、中井亮一 (テノール/バオロ・エリッソ)、須藤慎吾 (バリトン/マオメット)、工藤翔陽 (テノール/コンドゥルミエーロ&セリモ)
日本ロッシーニ協会合唱団、ピアノ : 金井紀子、解説 : 水谷彰良

《マオメット 2 世》 (2 幕のドラマ・ペル・ムジカ)

作曲 ジョアキーノ・ロッシーニ

台本 チェーザレ・デッラ・ヴァッレ

原作 チェーザレ・デッラ・ヴァッレの悲劇『アンナ・エリーゾ』 (1820 年)

初演 1820 年 12 月 3 日 ナポリ、サン・カルロ劇場

作品について

ロッシーニのオペラ・セリア《マオメット 2 世》は、皇帝マオメット率いるオスマン・トルコ軍に包囲されたギリシアのネグロポンテ島を舞台とする悲劇 (1820 年 12 月 3 日ナポリのサン・カルロ劇場初演)。オペラ改革の最高峰に位置する作品で、ヒロインの自害で締め括る画期的なフィナーレを採用し、ドラマの連続性を重視して楽曲の規模を拡大すると共に、随所に超絶華麗なコロラトゥーラと高度な装飾技巧が適用されています。日本初演は 2008 年 11 月にロッシーニ・オペラ・フェスティバルの来日で行われましたが、その後わが国での上演はありません。今回は未出版のロッシーニ財団の批判校訂版 (クラウドイオ・シモーネ校訂) を使用し、抜粋演奏します。日本語字幕付き。

【あらすじ】

第 1 幕

マオメット率いるオスマン・トルコ軍に包囲されたネグロポンテ島の総督エリッソは、司令官カルボを支持して徹底抗戦を決意する。エリッソは自分の娘アンナをカルボと結ばせようとするが、アンナはミティレーナ島の領主ウベルトへの愛を告白する。味方の裏切りで城門が開かれたと知ったエリッソは、自害用の短剣をアンナに渡して砦に向かうが、カルボと共にトルコ軍に捕えられてしまう。ウベルトがマオメットその人と知ったアンナは父とカルボを解放しなければ死ぬと言い、二人は解放されるが、エリッソは娘がマオメットを愛していたことに怒りを露わにする。

第 2 幕

マオメットはあらためてアンナへの愛を告白するが、アンナは拒み、死を選ぶと答える。マオメットは彼女にスルタンの印章を与え、再び戦いに向かう。教会の地下墓所で父とカルボに再会したアンナは印章を渡し、母の墓前でカルボと結婚する。父とカルボが戦いに赴き、独りになったアンナはトルコ軍に囲まれ、ヴェネツィア軍の勝利の叫びを聞く。そしてマオメットから印章を返すよう迫られると、自分の夫はカルボであると告げて自害する。

出演者プロフィール

天羽 明恵 Amou Akie (Soprano)

東京芸術大学卒業。オペラ研修所修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてシュトゥットガルトに留学。95 年第 6 回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。同年ソニア・ノルウェー女王記念第 3 回国際音楽コンクールに優勝。ドイツを拠点にヨーロッパ各地の歌劇場と音楽祭に数多く出演、日本でも新国立劇場、サントリーホール・ホールオペラなどで活躍。99 年度アリオン賞、2003 年第 14 回新日録音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。日本ロッシーニ協会運営委員。サントリーホール・オペラアカデミーのコーチング・ファカルティ。

家田 紀子 Ieda Noriko (Soprano)

東京音楽大学卒業。小澤征爾指揮民音オペラ《スペードの女王》でデビュー。新国立劇場、藤原歌劇団、日本オペラ協会、東京室内歌劇場、日本オペレッタ協会等多くの舞台に出演。《夕鶴》は2013年ベトナム・ハノイ他、国内で7回、池辺晋一郎《おしち》は2回のプロデュース主演を行う。ローマ、パリ、ルーマニア、シンガポール、ソウル、上海にも招かれ国内外で活躍。2014年3月、日本オペラ協会《春琴抄》春琴で出演。藤原歌劇団団員。日本ロッシェニ協会運営委員。CD『永遠に』『宵待草』『歌に生き 恋に生き』をリリース。

富岡 明子 Tomioka Akiko (Mezzosoprano)

東京芸術大学卒業、同大学院修了。在学中に安宅賞受賞。ローム音楽財団奨学生として伊・パルマ音楽院に学び、首席にて学位取得。2011年日本音楽コンクール2位をはじめ、ペリッツォーニ国際声楽コンクール2位及び聴衆賞、フラビアーノ・ラポーニ国際声楽コンクール2位など受賞を重ねている。オペラではパルマ歌劇場《試金石(抜粋)》やペーザロ・ロッシェニ音楽祭《ランスへの旅》、またサイトウキネン《セビリヤの理髪師》に出演。2012年東京フィル定期で巨匠アルベルト・ゼツダと共演し、高い評価を得た。二期会会員。

阪口 直子 Sakaguchi Naoko (Contralto)

武蔵野音楽大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1984年度文化放送音楽賞受賞。1985年イタリア・シエナのキジャーナ音楽院夏期講習で最優秀賞を受賞。《第九》《メサイア》《クリスマス・オラトリオ》、《エリア》(N響定期、サバリッシュ指揮)、ブラームス《アルト・ラブソディー》、マーラー《交響曲第2番 [復活]》等のソリストとして活躍。オペラは《オロンテア》《フィガロの結婚》《ランスへの旅》などに出演。アンサンブル「BWV2001」メンバー。日本ロッシェニ協会運営委員。国立音楽大学非常勤講師。

中井 亮一 Nakai Ryoichi (Tenore)

名古屋芸術大学声楽科首席卒業、同大学院修了。ミラノ・スカラ座音楽院オペラ研修所修了。'06年ヴェネツィア国際音楽祭、'08年フェニーチェ歌劇場コンサートなどに出演。'07年ロッシェニ・オペラ・フェスティバル若者公演《ランスへの旅》にベルフィオーレ役で出演し、L'Opera 誌、朝日新聞などで好評を得る。イタリア各地で《椿姫》アルフレード、《ドン・パスクワーレ》エルネストなどを演じ、'10年藤原歌劇団《タンクレーディ》アルジーリオで本格的東京デビューを果たす。藤原歌劇団団員。日本ロッシェニ協会会員。

工藤翔陽 Kudo Shoyo (Tenore)

鹿児島県立松陽高等学校音楽科卒業。第31、32、33回鹿児島県高等学校音楽コンクール3年連続金賞受賞、同コンクール第33回大会にて最優秀賞受賞。第66回全日本学生音楽コンクール東京大会大学の部入選。ヴェルディ《椿姫》ガストーネ、プッチーニ《トゥーランドット》ペルシャ王子役で出演の他、ベートーヴェン《交響曲第9番》テノールソロを務める。巻木春男、的場辰朗の各氏に師事。現在、昭和音楽大学4年次在籍。

須藤 慎吾 Sudo Shingo (baritono)

国立音楽大学卒業、同大学院修了。第37回イタリア声楽コンクールソシエナ大賞受賞、第42回伊声楽コンクール第1位ならびに歌曲賞受賞、第21回ヴァルセヴィア国際音楽コンクール入選、第10回オルヴィエート国際オペラコンクール第2位。《ドン・ジョヴァンニ》タイトルロールでオペラ・デビュー。7年間のイタリア留学中にミラーノを中心にイタリア各地の劇場に出演して好評を博す。ヴェルディ・バリトンとして高い評価を受ける。国立音楽大学非常勤講師、同大学音楽研究所(オペラ部門) 所員、藤原歌劇団団員。

金井 紀子 Kanai Noriko (Piano)

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業、同大学専攻科修了。声楽のアンサンブルピアニストとしての実績は45年以上に及び、オペラの分野ではコレペティートルとして二期会、藤原歌劇団、東京室内歌劇場、東京オペラプロデュース、新国立劇場小劇場などで活躍。1988～89年文化庁芸術家在外研修員としてミラーノのスカラ座に留学し、イタリアのテレビ番組《リリカ・イン・サロット》のレギュラーピアニストを務め、T.ファツプリチーニ、M.レアーレなどのリサイタル伴奏も務める。日本ロッシェニ協会事務局長。昭和音楽大学名誉教授。

水谷 彰良 Mizutani Akira (解説)

1957年 東京生まれ。オペラ研究者。日本ロッシェニ協会会長。フェリス女学院大学オープンカレッジ講師。著書：『プリマ・ドンナの歴史』(全2巻、東京書籍)、『ロッシェニと料理』(透土社)、『消えたオペラ譜』『サリエリ モーツァルトに消された宮廷楽長』『イタリア・オペラ史』(以上、音楽之友社)。『サリエリ』で第27回マルコ・ポーロ賞受賞。共著：『一冊でわかるクラシック音楽ガイド』(成美堂出版)、『魅惑のオペラ』(小学館。全30巻)ほか多数。多数の論考を日本ロッシェニ協会 HP に掲載。http://societarossiniana.jp/

◎日本ロッシェニ協会 Società Rossiniana Giapponese

日本ロッシェニ協会は、ロッシェニを愛する音楽研究者、評論家、声楽家、演奏家、オペラ愛好家によって1995年12月に設立された団体です(名誉会長:フィリップ・ゴセット、会長:水谷彰良、事務局長:金井紀子)。定期演奏会と例会の開催、研究紀要『ロッシェニアナ』の発行を主な事業とし、ロッシェニに関心のある方はどなたでも入会できます。入会資料請求は事務局まで(Fax:03-3722-0426)。

[公式ホームページ] <http://societarossiniana.jp/>